

### 1. 本堂丸柱の修理状況

本堂の丸柱は柱底部や芯部の補修を中心に施工し、完了した。

求聞持堂との取り合い部の柱は、虫害による表面の劣化が著しかったため、人工木材で整形した。施工面積が大きい場所は、木目にあわせて筋彫りを施し、木部との質感の差異を低減するよう調整した。



### 2. 本堂大引の補修状況

内陣側の大引は中古の改変により、対応する足固貫との仕口が失われていた。今回の修理にあたっては、軸部を十分に緊結するため、中古材にも継木で当初の仕口を設けた。



### 3. 補足木材の加工状況

辺材部分に虫害やカビの被害が出ないように、補足木材用の原木ほか素材の加工を進めている。

松材などはいったん粗く加工し、可能な限り乾燥させて十分に狂わせてから再加工するようにしている。

野物補足材は表面はつて、防虫防腐剤を塗布した。

